第 25 号

ふじやまだより

発　行　者
富士市立ふじやま学園
代表　園長　清　峰和
富士市大淵２１０６－３
ＴＥＬ　0545-35-0313
ＦＡＸ　0545-35-0243

✦　子ども達の挑戦、求む！！　✦

４月に入って、まずは感染症が流行らないか心配しましたが、インフルエンザも新型コロナウィルスも流行することなく新年度をスタートすることができました。ふじやま学園は４月から女児１名が加わって３８名でスタートしています。多少、寮間での子どもや職員の移動があり、学校での進級や入学なども含めて生活の環境は変わりましたが、徐々に子ども達も慣れて、ハツラツとした日々を送っています。

昨年度は新型コロナウィルスが５類感染症に移行となって、子ども達は外出する機会が増え、園児旅行でディズニーランドや富士急ハイランドへ行ったり、地域の祭りや行事に参加したりと子どもらしい遊び、経験をたくさん積むことができました。マスクを外して笑っている表情を見ると、これが本来子ども達の歩んでいく道だと改めて気付かされました。

そんな中、毎日の登下校を「自分で歩いて通いたい！」と言う子どもが増え、職員と一緒に何度も歩く練習をして、自力で通う子どもが学園では増えた印象があります。車の交通量や不審者など心配な点はありますが、職員は送迎車で自力での通学が困難な子どもを送迎している時や自身の出退勤時に子ども達が歩いている姿を確認して遠くから見守っています。自分で決めたことを汗水流して頑張っている姿を見かけると私自身も気持ちが奮い立ちます。施設の生活ではありますが、いかに一般家庭と変わらない雰囲気を作って子ども達が日常生活を送ることができるか「スマートホンを持ちたい、休日に学校の友達と遊びにいきたい」など希望は多いですが、我々職員は親と変わらない大人の視点で向き合って子ども達と話を進めていきたいなと思います。

私はふじやま学園の指導主任２年目になりますが、分からないことだらけの１年目をたくさんの人達に支えられながら過ごしました。２年目からは分かっている分、マンネリ化しないように子ども達と一緒に成長していきたいなと思います。

また、今年度も昨年度以上に良いこと、悪いことがあると思いますが、子ども達が挑戦する力を養い、色々な経験が積めるように職員一丸となって取り組んでいきたいと思います。

皆さん、今年度もよろしくお願いします。

〈指導主任　鈴木　研一郎〉

休日のすごし方

新年度がはじまりました。進級や進学により、生活スタイルがガラっと変わる子もおり、新しい学校生活に慣れるために毎日頑張っているようです。そんな子ども達も、休日は外に出てアクティブに活動したり、お部屋の中でリラックスしたりしながらリフレッシュし、英気を養っています。

GW のよく晴れた日、「富士山こどもの国」に行ってきました。富士山麓の雄大な自然の中をゆったりと歩き、初夏の自然を満喫してきました。

馬の餌やりコーナーでは、初めて触れ合う馬の大きさに驚いてしまう子も。

水遊びに親しむことができるエリアでは、まだ泳ぐには早い季節だったため、足だけ水につけて気持ちよさそうに遊んでいました。

この可愛いレインコートのキャラクターやかたつむりの壁面は、子ども達が作りました。レインコートは絵の具を混ぜ、紙に色水を丁寧に付けて染め上げた、世界でひとつだけのオリジナル模様です。かたつむりはグルグルや水玉などそれぞれの個性が出た模様がユニークです。

５月２５日（土）・２６日（日）に、ふじさんメッセにて開催された「富士のふもとの大博覧会『ふもと博』」にご招待いただきました。

からあげやスイーツ等の絶品グルメを味わったり、着ぐるみやかぐや姫クイーンと一緒に写真を撮ったり、車に試乗してみたり、プラネタリウムを鑑賞したり、子ども達も大喜びでした。

屋台の店員さんになかなか話しかけられない A さんを見たお友達の B さんが、「それくださいって言うんだよ」とこっそり助言をしている姿も見られ、とても微笑ましかったです。

各寮の紹介

ふじ寮

今年度、ふじ寮では、「個々に合わせた楽しい時間を増やしていく」というテーマで支援に取り組んでいきます。

障害の程度の幅が広く、余暇の過ごし方も様々なため、個々の要望に応えられるよう、今年度、プレイルームの設置や居間のテレビで YouTube が観られるようにする等の環境設定を行いました。

また、普段なかなか食べることのできないようなスイーツを月に一度食べる機会を作っていこうと考えています。子どもらしく遊び、笑顔が溢れる寮運営を行っていきたいと思います。

つつじ寮

今年度、つつじ寮では「自分で選んで決めることができる児を育む」というテーマを掲げて支援に取り組んでいきます。

施設の中で常に職員がいる環境では、ちょっとした選択も他人任せにしてしまう傾向があります。買いたいもの、食べたいもの、自分の将来の進路など、自分で考えて決められるようになってほしいですが、悩んだ時には一緒に考えられるような職員との信頼関係も築いていきたいと思います。

かえで寮

今年度、かえで寮では他者とのコミュニケーションや距離感について、重点的に取り組んでいきたいと考えています。

かえで寮では小学生から高校生まで幅広い年代の児童が生活しています。寮内の児童や職員とのコミュニケーションだけではなく、学校の友達との付き合い方や実習先の方々との関わり方について、個々の状況や段階に合わせた学ぶ機会を多く持てればと思います。

在宅支援係

在宅支援では、現在、短期入所と日中一時を合わせて、平日平均５人～7 人、土日祝日は平均 8～10 人程のお子さんに利用していただいています。
今年度は『自分でやってみよう』を合言葉に、小さなチャレンジができるように支援を心がけていきたいと考えています。

靴下自分で履けるかな、ゴミを捨てられるかな、運んでみよう、お買い物ごっこしてみよう、たくさんの“やってみよう”を、はぐくんでいきたいです。

また、日々の過ごしの中で、子どもたちそれぞれの笑顔・優しさ・楽しみ・頑張りを見つけ、保護者や利用されている子ども達と分かち合う、心穏やかな場の提供づくりにも引き続き取り組んでまいります。

お知らせ

【９月の短期入所・日中一時の利用について】

ふじやま学園の施設内電気設備点検があります。一斉停電のため、電気設備が終日利用できない日があります。

◇９月２０日（金）→日中一時利用のみ（小：２０時まで　中・高：２１時まで）
※２０日から２２日にかけて短期入所の利用はできません

◇９月２１日（土）→日中一時・短期入所ともに終日休業

★９月２２日（日）→日中一時・短期入所ともに通常利用とさせていただきます。
ご迷惑をおかけします。気を付けて予約を入れてください。

ふじやま学園　在宅支援係

園長より

新年度が始まり早２ヶ月が経過し、進級、進学した子ども達も新たな生活に慣れ、学校、学園生活を楽しむと共に、それぞれの目標に向かって日々を過ごしています。

職員も子ども達の目標や希望の実現に向けて、様々な取り組みを行っていますが、職員だけの努力では限界があります。

今年度も保護者をはじめ、行政機関、教育機関、福祉団体、ボランティアなど様々な皆様のご理解とご協力を頂き、それぞれの成長や希望の実現に結びつくよう努力していきたいと考えていますので、よろしくお願い致します。